

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

P. 10

(11)Publication number : 2000-194750

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 10-374555

(71)Applicant : FUJITSU FIP CORP

(22)Date of filing : 28.12.1998

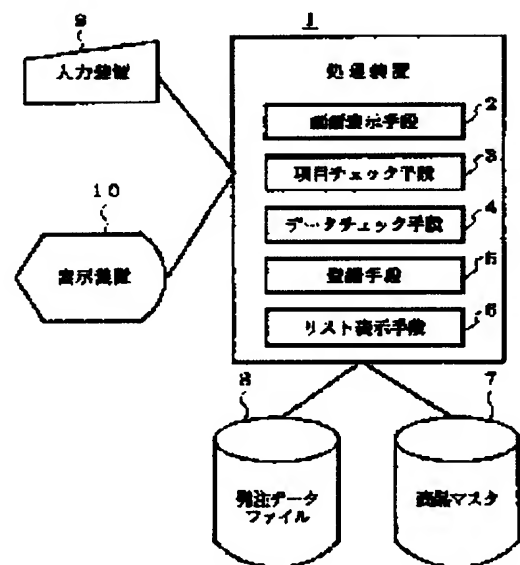
(72)Inventor : FUKUSHIMA YOSHIBUMI  
SHIMADA YOSHIYUKI  
MIYOSHI TAKAO  
HIGUCHI HITOKI  
WATANABE MASASHI

## (54) DATA REGISTER DEVICE AND RECORDING MEDIUM

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily and quickly register the data on received orders by registering automatically these data if no commodity codes exist when a commodity master is collated with the data on received orders, also performing the collation of items and then urging the input/correction against the non-input or wrong input by showing this part with emphasis.

**SOLUTION:** The data on received orders which are fetched by an item check means 3 are collated with a commodity master 7. If no commodity codes are registered, the commodity codes and items are registered. A data check means 4 checks every item. If the check results of items are all right, the items are registered. If the non-input or wrong input of an item is detected, the correction of the item is urged with the emphasized display of it or these items are stored in a list. The non-input or wrong input part is shown with emphasis when a list display means 6 shows the stored list. Furthermore, a reinput enable range is shown when the non-input or wrong input is shown with emphasis so that the correcting input is facilitated.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2000-194750  
(P2000-194750A)

(43)公開日 平成12年7月14日(2000.7.14)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 17/60

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/21

テーマコード\*(参考)  
5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平10-374555

(22)出願日 平成10年12月28日(1998.12.28)

(71)出願人 591106864

富士通エフ・アイ・ピー株式会社  
東京都江東区青海2丁目45番

(72)発明者 福島 義文

東京都江東区青海2丁目45番 富士通エ  
フ・アイ・ピー株式会社内

(72)発明者 嶋田 芳幸

東京都江東区青海2丁目45番 富士通エ  
フ・アイ・ピー株式会社内

(74)代理人 100089141

弁理士 岡田 守弘

最終頁に続く

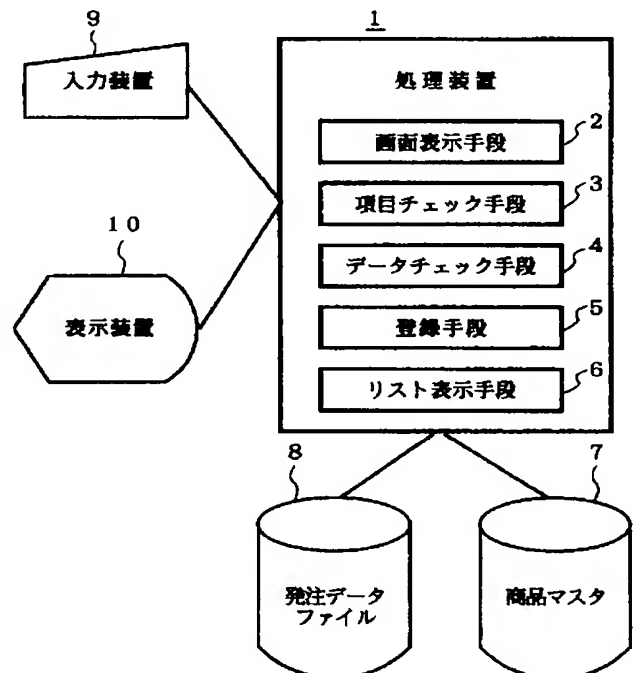
(54)【発明の名称】 データ登録装置および記録媒体

(57)【要約】

【課題】 本発明は、受注データを登録するデータ登録装置および記録媒体に関し、受注データを商品マスタと照合時に商品コードが存在しないときに自動登録すると共に、項目の照合を行い、未入力や間違い入力のときにその個所を強調表示して入力/修正を促して入力させ、簡易かつ迅速に受注データの登録を可能にすることを目的とする。

【解決手段】 商品コードに対応づけて項目を登録する商品マスタと、受注データを取り込む手段と、取り込んだ受注データを商品マスタと照合し商品コードが登録されていなかった場合には当該商品コードと項目を登録する手段と、照合時に商品コードが登録されていた場合、あるいは商品コードが登録されていなかった場合には商品コードと項目を登録した後、各項目のチェックを行い、OKのときに登録を行い、未入力あるいは間違い入力のときはその個所を強調表示して修正を促す、またはリストとして保存する手段とを備えるように構成する。

本発明のシステム構成図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】受注データを登録するデータ登録装置において、

商品コードに対応づけて項目を登録する商品マスタと、  
受注データを取り込む手段と、  
上記取り込んだ受注データを上記商品マスタと照合し商品コードが登録されていなかった場合には当該商品コードと項目を登録する手段と、  
上記照合時に商品コードが登録されていた場合、あるいは商品コードが登録されていなかった場合には商品コードと項目を登録した後、各項目のチェックを行い、OKのときに登録を行い、未入力あるいは間違い入力のときはその個所を強調表示して修正を促す、またはリストとして保存する手段とを備えたことを特徴とするデータ登録装置。

【請求項2】スケジューリングされた所定時間になったときに上記取り込む手段が受注データを取り込み、処理を開始させることを特徴とする請求項1記載のデータ登録装置。

【請求項3】上記保存したリストの表示時に、未入力あるいは間違い入力の個所を強調表示して修正を促すことを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載のデータ登録装置。

【請求項4】上記強調表示した際に、未入力あるいは間違い入力時に、再入力可能な範囲を表示したことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載のデータ登録装置。

【請求項5】商品コードに対応づけて項目を商品マスタに登録する手段と、  
受注データを取り込む手段と、  
上記取り込んだ受注データを上記商品マスタと照合し商品コードが登録されていなかった場合には当該商品コードと項目を登録する手段と、  
上記照合時に商品コードが登録されていた場合、あるいは商品コードが登録されていなかった場合には商品コードと項目を登録した後、各項目のチェックを行い、OKのときに登録を行い、未入力あるいは間違い入力のときはその個所を強調表示して修正を促す、またはリストとして保存する手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、受注データを登録するデータ登録装置および記録媒体に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、電話注文やオンライン注文を受けた際に、受注データの内容と、商品マスタと照合を行い、商品コードが存在しない場合にはエラーとして破棄してしまい、後にエラーとなった商品コードに対応する

登録情報を商品マスタに登録した後、再度、エラーとなった商品コードとその内容を全て再入力して商品マスタと照合した後に受注データファイルに登録するようにしていた。

【0003】また、商品コードが商品マスタに存在して照合はOKとなったが、その項目に間違いがあった場合（例えば商品の受注数／発注数の単位が間違っていた場合）には、エラーとして破棄あるいは単にエラー情報として保存していた。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、受注データと商品マスタを照合して商品コードがないときにエラーとして破棄していたため、後でエラーとなった商品コードに対応する登録情報を登録した後に再度、商品コードとその内容を入力して登録するという面倒な操作が要求されてしまうと共に、エラーとなって破棄された商品コードを管理者が調べて登録する手作業が必要となってしまうなどの問題があった。

【0005】また、商品コードは商品マスタに登録されていたが、その項目が未入力や誤入力であった場合、エラーとされるのみで、いずれの個所がエラーで修正すればよいか不明でエラー修正を行い難いという問題もあった。

【0006】また、24時間営業のコンビニエントストア等では、夜中に在庫を調べ発注を行い、発注業者では朝に納品するなど、発注データを夜中に受信する必要がある、決められた時間内で納品処理が必要となってきたり、専任の操作者が必要などとなってしまう問題があった。

【0007】本発明は、これらの問題を解決するため、受注データを商品マスタと照合時に商品コードが存在しないときに自動登録すると共に、項目の照合を行い、未入力や間違い入力のときにその個所を強調表示して入力／修正を促して入力させ、簡易かつ迅速に受注データの登録を可能にすることを目的としている。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、処理装置1は、プログラムに従い各種処理を行うものであって、ここでは、項目チェック手段3、データチェック手段4、およびリスト表示手段6などから構成されるものである。

【0009】項目チェック手段3は、受注データと商品マスタ7を照合して商品コードに対応づけて項目が登録されているかをチェックするものである。データチェック手段4は、受注データと商品マスタ7を照合して商品コードに対応する項目の内容（データ）をチェックするものである。

【0010】リスト表示手段6は、未入力あるいは間違い入力のリストを強調表示したり、入力範囲を表示した

りなどするものである。商品マスタ7は、商品コードに対応づけて項目などを登録するものである。

【0011】発注データファイル8は、受注データを登録するものである。次に、動作を説明する。項目チェック手段3が取り込んだ受注データを商品マスタ7と照合し商品コードが登録されていなかった場合には当該商品コードと項目を登録し、データチェック手段4が各項目のチェックを行い、OKのときに登録を行わせ、未入力あるいは間違い入力のときはその個所を強調表示して修正を促す、またはリストとして保存するようにしている。

【0012】この際、スケジューリングされた所定時間になったときに受注データを取り込み、処理を開始させることで、端末に自動スケジューリング機能を持たせ、発注データの受信処理やプルーフリスト作成を無人化するようにしている。

【0013】また、リスト表示手段6が保存したリストの表示時に、未入力あるいは間違い入力の個所を強調表示するようにしている。また、強調表示した際に、未入力あるいは間違い入力時に、再入力可能な範囲を表示し、修正入力し易いようにしている。

【0014】従って、受注データを商品マスタ7と照合時に商品コードが存在しないときに自動登録すると共に、項目の照合を行い、未入力や間違い入力のときにその個所を強調表示して入力／修正を促すことにより、受注データを簡易かつ迅速に登録することが可能となる。

【0015】

【実施例】次に、図1から図8を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。

【0016】図1は、本発明のシステム構成図を示す。図1において、処理装置1は、図示外の記録媒体から読み出したプログラムを主記憶にローディングして起動し、以下に説明する各種処理を行うものであって、ここでは、画面表示手段2、項目チェック手段3、データチェック手段4、登録手段5、およびリスト表示手段6などから構成されるものである。

【0017】画面表示手段2は、各種画面を表示して画面上から入力されたデータや指示を取り込むものである。項目チェック手段3は、受注データと商品マスタ7を照合して商品コードに対応づけて項目が登録されているかをチェックなどするものである。

【0018】データチェック手段4は、受注データと商品マスタ7を照合して商品コードに対応する項目の内容（データ）をチェックするものである。登録手段5は、受注データを発注データファイル8などに登録するものである。

【0019】リスト表示手段6は、未入力あるいは間違い入力のリストを強調表示したり、入力範囲を表示したりなどするものである。商品マスタ7は、商品コードに対応づけて項目などを登録するものである。

【0020】発注データファイル8は、受注データを登録するものである。次に、図2および図3のフローチャートに示す順番に従い、図1の構成の動作を詳細に説明する。

【0021】図2および図3は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図2において、S1は、スケジュールされた時間か判別する。これは、受注データを一括して処理などするスケジュールされた時間になったか判別する。YESの場合には、S21でデフォルト条件の設定を行い、あるいは指定された条件の設定を行い、後述する図3のS8以降の処理で、受注データを発注データファイル8に自動的にチェックなどして登録する。一方、S1のNOの場合には、S2以降の処理を行う。

【0022】S2は、一覧画面を表示する。これは、後述する例えば図5のメニュー画面（一覧画面）を表示する。S3は、詳細画面を表示する。これは、S2で表示した図5のメニュー画面上で、ここでは、①の受注業務を選択したことに対応して、その詳細画面として、後述する図6の受注業務画面を表示する。

【0023】S4は、選択およびオプションの指定を行う。これは、S3の図6の受注業務画面（詳細画面）上で例えばオンライン受注を選択して、後述する図7のオンライン受信画面などを表示し、このオンライン受注画面上などで、図示の下記のうち該当するものを指定する。

【0024】・受信

・再受信

・伝票発行

・商品新規／追加の登録

S5は、入力画面を表示する。これは、例えばS4で受信を選択して後述する図8の入力画面を表示する。

【0025】S6は、入力する。これは、図示の下記のうちから該当するデータなどを入力する。

・商品コード選択入力

・数量

・原単価／売単価

図3のS7は、登録／再登録を指示する。

【0026】S8は、入力画面から1レコード取得する。これは、S6で例えば図8の入力画面上で入力された1レコードを読み込む。S9は、終了か判別する。これは、入力画面から取り込むレコードが終了か判別する。YESの場合には、終了する。NOの場合には、S10に進む。

【0027】S10は、商品コードを元に商品マスタ7の内容を読み込む。S11は、読み込めたか判別する。これは、S10で入力画面から取り込んだ1レコードの受注データについて、当該受注データ中の商品コードをキーに、商品マスタ7例えば図4の商品マスタ7を検索して該当商品コードのレコードがあり、読み込めたか判別する。YESの場合には、商品コードが商品マスタ7

に登録されており、その内容が読み出せたので、S13に進む。一方、S11のNOの場合には、商品マスタ7に商品コードとその項目が登録されていなく、読み出せないと判明したので、S12で商品マスタ7に登録し、S10に戻り、再度、商品コードを元に商品マスタ7の内容を読み出すが、今回は登録したのでS11のYESとなり、S13に進む。

【0028】S13は、項目の照合（OK／未入力／間違い入力）を行う。これは、商品マスタ7から商品コードをもとに読み出した項目の内容と、受注データの項目の内容とを照合する。

【0029】S14は、OKか判別する。これは、商品マスタ7から読み出した商品コードの各項目の内容と、受注データの各項目の内容とを照合してOKか判別する。YESの場合には、S18で発注データを発注データファイル8に登録し、S8に戻る。一方、S14のNOの場合には、照合結果がNGと判明したので、S15に進む。

【0030】S15は、未入力／間違い入力のいずれか判別する。これは、照合結果が未入力あるいは間違い入力のいずれか判別する。

（1） 受注データのいずれかの項目の内容が未入力であった場合には、S16で再入力画面を表示し、

- ・未入力個所の強調表示
- ・スケジュール設定時はリスト保存

する。これは、オペレータが画面上から受注データを入力している場合には、再入力画面を表示して当該再入力画面上で未入力の項目を強調表示すると共に入力可能な範囲を参考のために表示し、再入力を促す。一方、スケジュール設定時（既述したS1のYESの場合）には、オペレータが画面から受注データを入力してなく、スケジュール時間になったときに自動的に受注データの登録処理を開始する。未入力のある受注データについてはリストを保存する。そして、S6に戻り繰り返す。

【0031】（2） 受注データのいずれかの項目の内容が間違い入力であった場合には、S17で再入力画面を表示し、

- ・間違い個所の強調表示
- ・正しい範囲の表示
- ・スケジュール設定時はリスト保存

する。これは、オペレータが画面上から受注データを入力している場合には、再入力画面を表示して当該再入力画面上で間違い入力の項目を強調表示すると共に入力可能な範囲を参考のために表示し、間違い入力の修正を促す。一方、スケジュール設定時（既述したS1のYESの場合）には、オペレータが画面から受注データを入力してなく、スケジュール時間になったときに自動的に受注データの登録処理を開始するので、リストとして間違い入力の受注データについてのリストを保存する。そして、S6に戻り繰り返す。

【0032】以上によって、入力された受注データを商品マスタ7と照合し、商品コードが登録されていない場合に当該受注データの商品コードと項目を商品マスタ7に自動登録し、受注データと商品マスタ7の該当商品コードの各項目の内容と照合し、OKのときに受注データファイル8に登録し、未入力あるいは間違い入力の場合には、再入力画面を表示して未入力／間違い入力の個所を強調表示および入力可能範囲を表示して再入力／間違いの修正を促し、一方、スケジュール設定で無人で受注データの登録処理を実行したときは未入力／間違い入力のリストを保存することにより、受注データの商品コードが商品マスタ7に登録されていなくても自動的に商品コードを付与（あるいは採番）および項目を登録し、各項目の内容を発注データファイル8に登録することが可能となると共に、各項目の内容に未入力や間違い入力があった場合には再入力画面を表示して未入力／間違い入力の個所を強調表示および入力範囲を表示して容易かつ確実に未入力を無くしたり、間違い入力を修正したりすることが可能となる。

【0033】図4は、本発明の商品マスタ／発注データファイル例を示す。図4において、商品マスタ7は、商品コードに対応づけて項目を登録したものであって、図示の下記のようなデータを登録したものである。

【0034】・商品コード：

- ・商品名：
- ・人数：
- ・ケース：
- ・単位：
- ・原単価：
- ・売単価：
- ・その他：

発注データファイル8は、商品マスタ7と照合してOKとなった受注データを登録して保存するものであって、商品マスタ7の各項目に対応づけてその内容をそれぞれ図示のように登録したものである。この際、図示のように、取引先コード（顧客毎）毎に登録するようにしている。

【0035】図5は、本発明の画面例（メニュー画面）を示す。このメニュー画面は、既述した図2のS2で表示した一覧画面の例であって、ここでは、図示のような一覧を表示し、いずれかを選択して該当処理を起動するものである。

【0036】・受注業務：①

- ・請求業務：
- ・ピッキング印刷：
- ・伝票ジャーナル待避：
- ・マスタ管理業務：
- ・連携データ作成：
- ・取引先選択へ戻る：

50 以上のメニュー画面上で、図2のS2では、①の受注業

務を選択し、受注業務を起動する。

【0037】図6は、本発明の画面例（受注画面）を示す。これは、図5のメニュー画面上で、①の受注業務を選択したことにより、表示される画面であって、図示の下記のデータを表示したものである。

【0038】・オンライン受注：②

- ・電話受注入力：
- ・伝票発行：

以上の受注画面上で、図2のS3では、②のオンライン受注を選択し、オンライン受注の処理を起動する。

【0039】図7は、本発明の画面例（オンライン受信画面）を示す。これは、図6の受注画面上で、②のオンライン受注を選択したことにより、表示される画面であって、図示の下記のデータを表示したものである。

【0040】・受信：

- ・受信モード：③
- ・受信：
- ・再受信：
- ・伝票発行：

以上のオンライン受信画面上で、図2のS4では、③の受信で受信モード（受信）を選択し、オンライン受信モードで起動する。

【0041】図8は、本発明の画面例（入力画面）を示す。これは、図7のオンライン画面上で、③の受信で受信モード（受信）を選択したことにより、表示される画面であって、図示の下記の入力画面を表示したものである。

【0042】・商品コード：

- ・商品名：
- ・取引先品番：
- ・入数：
- ・ケース：
- ・単位／数量：
- ・原単価／原価金額：
- ・売単価／売価金額：
- ・その他：

以上の入力画面上で、図2のS5、S6では、受注データの商品コードとその項目（取引先品番、入数、ケースなど）を入力することが可能となる。

【0043】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、受注データを商品マスタと照合時に商品コードが存在しないときに自動登録すると共に、項目の照合を行い、未入力や間違い入力のときにその個所を強調表示して入

力／修正を促す構成を採用しているため、

（1） 受注データ中に商品マスタに登録されていない商品コードがあっても自動登録して受注データを登録したり、

（2） 更に、受注データ中の項目の内容に未入力や間違い入力があったときに、再入力画面を表示して未入力あるいは間違い入力の個所を強調表示および入力可能範囲を表示して再入力や修正入力をし易くすることで簡易かつ確実に受注データを迅速に入力／修正することが可能となる。

【0044】（3） また、スケジュール設定されているときは、スケジュール設定された時間になると、自動的に受注データを取り込んで商品マスタと照合して商品コードが登録されていないときは自動登録し、更に、未入力や間違い入力があるとそのリストを保存しておき、管理者がリストおよび入力可能範囲を表示して、強調表示された未入力個所や間違い入力個所に再入力や修正入力することで、簡易かつ迅速に入力／修正して発注データファイルに8に登録することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の動作説明フローチャート（その1）である。

【図3】本発明の動作説明フローチャート（その2）である。

【図4】本発明の商品マスタ／発注データファイル例である。

【図5】本発明の画面例（メニュー画面）である。

【図6】本発明の画面例（受注画面）である。

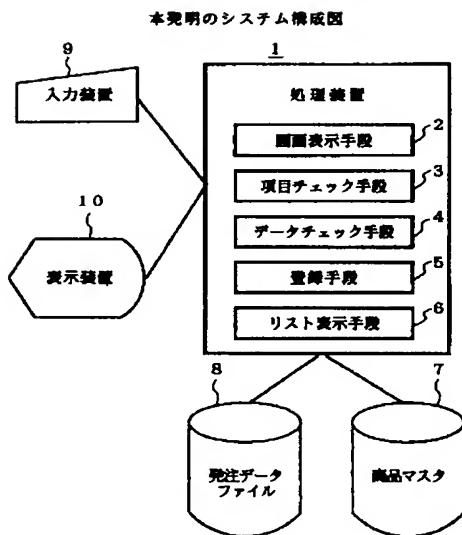
【図7】本発明の画面例（オンライン受信画面）である。

【図8】本発明の画面例（入力画面）である。

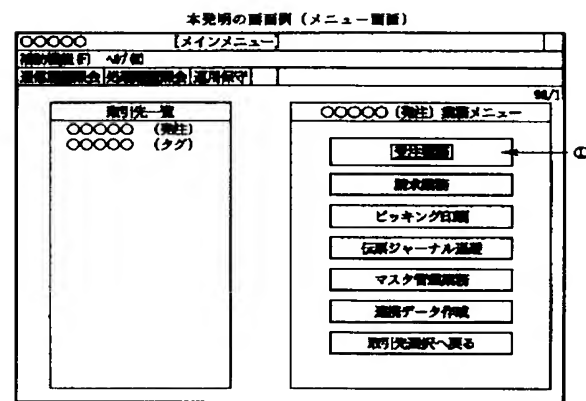
【符号の説明】

- 1：処理装置
- 2：画面表示手段
- 3：項目チェック手段
- 4：データチェック手段
- 5：登録手段
- 6：リスト表示手段
- 7：商品マスタ
- 8：発注データファイル
- 9：入力装置
- 10：表示装置

【図 1】



【図 5】



【図 4】

本発明の商品マスタ／発注データファイル例

## 7: 商品マスタ

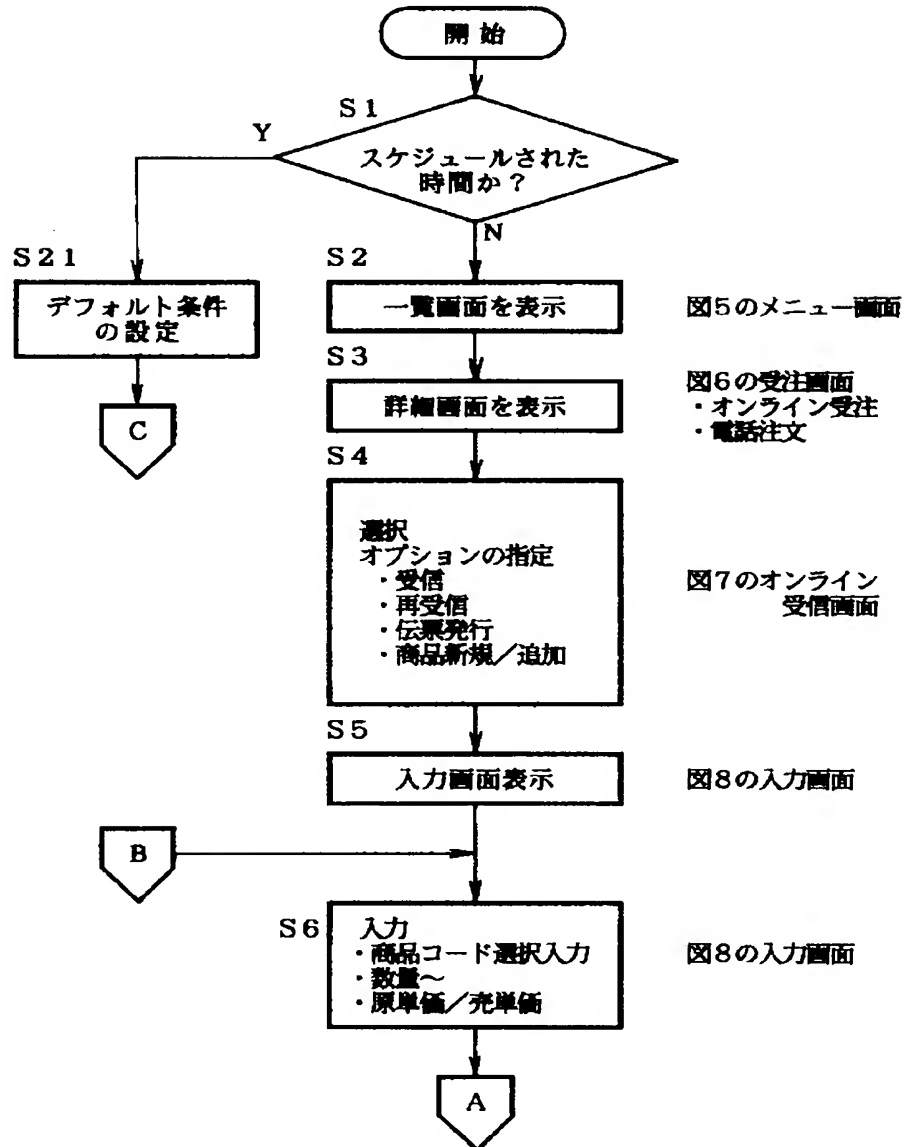
商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価
-------	-----	----	-----	----	-----	-----

8: 発注データ  
ファイル

取引先コード	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量
	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量
	:	:	:	:	:	:	:	:
	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量
取引先コード	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量
	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量
	:	:	:	:	:	:	:	:
	商品コード	商品名	入数	ケース	単位	原単価	売単価	数量

【図2】

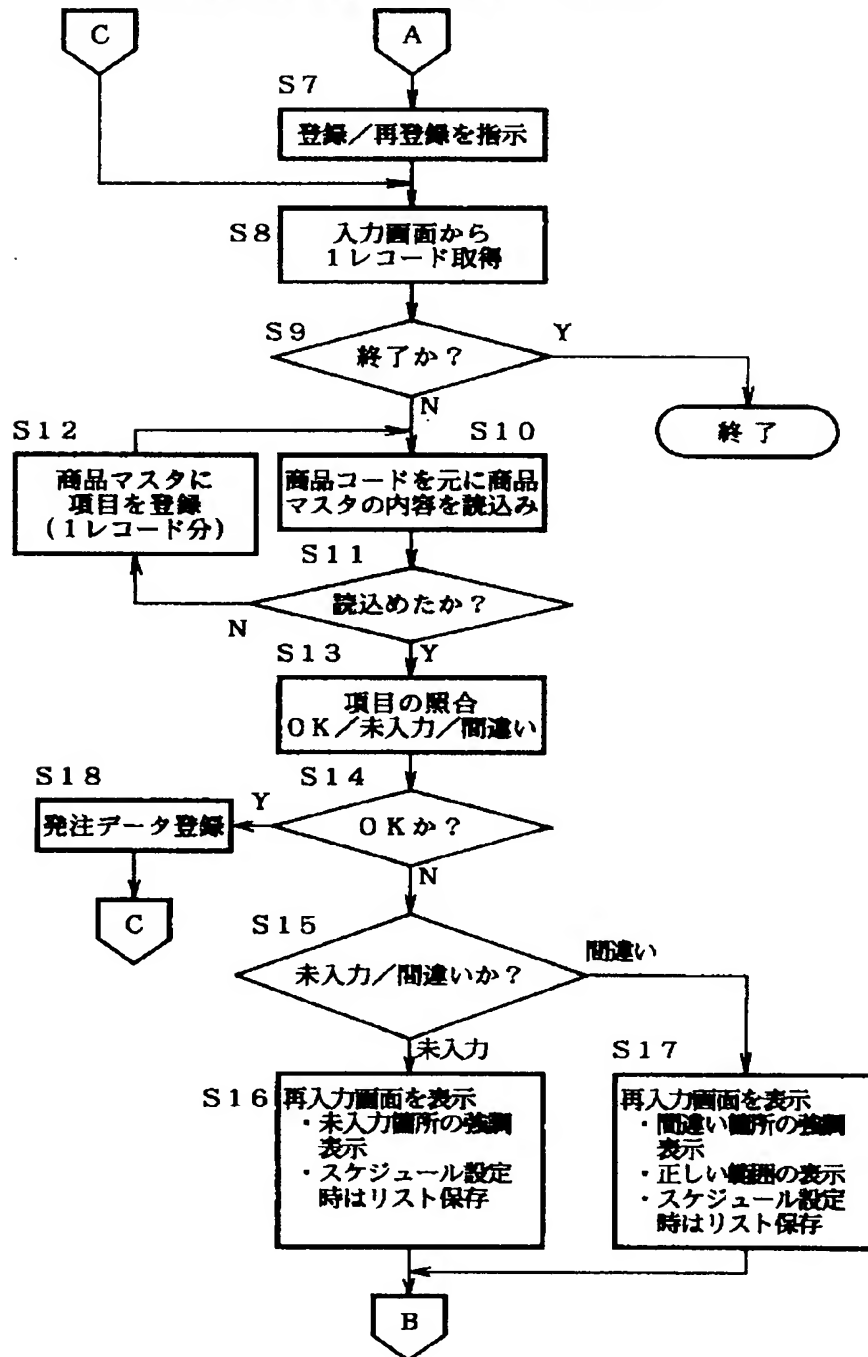
## 本発明の動作説明フローチャート（その1）





【図3】

本発明の動作説明フローチャート（その2）



【图 7】

本発明の要約 (オンライン受償要約)

オンライン受償処理

○○○○○ (発注)

前日受償時間: 85/12/11 15:13:34

① 受 償

受償モード

② 受 償

③ 再受償

④ 伝票発行

処 理 結 束

⑤

オンライン受償後、続けて伝票発行・ピックアップリスト印刷をするときは、直当処理を選択してください。

【图 8】

本発明の製造例（入力画面）

☐ 新規 ☐ 編集 ☐ 印刷 ☐ 終了

品名  品番  単位  数量

品名	品番	単位	数量	行	品名	品番	単位	数量
▼		▼	▼	1				
▼		▼	▼	2				
▼		▼	▼	3				
▼		▼	▼	4				
▼		▼	▼	5				
▼		▼	▼	6				
▼		▼	▼	7				
▼		▼	▼	8				
▼		▼	▼	9				

フロントページの続き

(72)発明者 三好 隆生  
東京都江東区青海2丁目45番 富士通エ  
フ・アイ・ピー株式会社内

(72)発明者 樋口 仁樹  
東京都江東区青海2丁目45番 富士通エ  
フ・アイ・ピー株式会社内

(72)発明者 渡辺 将史  
東京都江東区青海2丁目45番 富士通エ  
フ・アイ・ピー株式会社内  
Fターム(参考) 5B049 AA06 BB11 CC05 CC32 EE05  
FF03 FF07